

Title	著者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.56 別冊,2013.10 : 3-4
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4754
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著者紹介〕

隅谷 三喜男 すみや・みきお 1916年8月26日—2003年2月22日

1941年東京帝国大学卒業。1948年東京大学経済学部助教授，1955年同教授。1977年定年退職後，信州大学教授を経て1980～1988年東京女子大学学長。1989～1993年聖学院大学全学教授。1982年日本学士院会員。東京大学名誉教授，北京大学名誉教授，遼寧大学名誉教授，東北師範大学名誉教授，中国社会科学院名誉高級研究員。経済学博士。キリスト教功労者。

〔著書〕『近代日本の形成とキリスト教』、『日本賃労働史論——明治前期における労働者階級の形成』、『片山潜』、『ともしびをかかげて——人物日本社会運動史』、『日本の労働問題』、『労働経済論』、『日本労働運動史』、『賀川豊彦』、『日本石炭産業分析』、『アジア諸国の労働問題』、『韓国の経済』、『大学はバベルの塔か』、『大学でなにを学ぶか』、『私のキリスト教入門——信徒信条による』、『日本社会思想の座標軸』、『ひとすじの途——学問と信仰のはざまで』、『アジアの問いかけと日本——あなたはどこにいるか』、ほか多数。

中西 洋 なかにし・よう

1933年生まれ。1957年東京大学経済学部卒業。1963年東京大学大学院博士課程単位取得退学。1963年東京大学経済学部助手，1967年同助教授，1978年同教授，1994年定年により退官。1978～1980年オックスフォード大学セント・アントニーズ・カレッジ客員研究員。1994年新潟大学経済学部教授，1996年法政大学社会学部教授，2004年定年退職。東京大学名誉教授。経済学博士。

〔著書〕『日本における「社会政策」・「労働問題」研究——資本主義国家と労資関係』、『増補日本における「社会政策」・「労働問題」研究』、『日本近代化の基礎過程——長崎造船所とその労資関係：1855～1900年』上・中、『〈自由・平等〉と〈友愛〉——“市民社会”；その超克の試みと挫折』、『〈賃金〉〈職業＝労働組合〉〈国家〉の理論——近・現代の骨格を調べて，近未来をスケッチする』、『近未来を設計する——〈正義〉〈友愛〉そして〈善・美〉』、『日本近代化の基礎過程——長崎造船所とその労資関係：1855～1903年』下、『東アジアの〈人と社会〉に関する研究』（NIRA政策研究報告書，編著），『インドと中国の真実』（共著）ほか多数。

大木 英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ。1956年東京神学大学大学院卒業。1960年ユニオン神学大学（ニューヨーク）ドクターコース卒業。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。東京神学大学名誉教授。学校法人聖学院名誉理事長。前聖学院大学大学院長・教授，前聖学院大学総合研究所所長。キリスト教功労者。

〔著書〕『ブルンナー』、『ピューリタニズムの倫理思想』、『ピューリタン——近代化の精神構造』、『終末論的考察』、『終末論的考察』、『終末論』、『キリスト入門——福音の再発見』、『現代人のユダヤ人化——現代文明論集』、『歴史神学と社会倫理』、『偶然性と宗教——現代の運命とキリスト教』、『人類の知的遺産72 バルト』、『新しい共同体の倫理学 基礎論』、『主の祈り——キリスト入門』、『「宇魂和才」の説——21世紀の教育理念』、『ローマ人への手紙——現代へのメッセージ』、『時の徴——第三ミレニアムとグローバリゼーション』、『組織神学序説——プロレゲーメナとしての聖書論』、『信仰と倫理——十戒の現代的意味』、『人格と人権——キリスト教弁証学としての人間学』上、『日本の神学』（古屋安雄共著）、『日本は変わるか？——戦後日本の終末論的考察』（富岡幸一郎共著）ほか。